



牧が丘だより

真岡市立中村中学校 学校だより

校訓 自主の精神

令和2年度第6号

令和3年3月15日発行

編集・発行 教頭 三田紀代美

◇3月10日（水）第74回卒業式を実施することができ感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染拡大防止策として、卒業生とその保護者、教職員での縮小実施となりましたので、校長式辞を掲載させていただきます。



〔式辞〕

春の息吹が感じられる今日この佳き日

保護者の方々のご臨席を賜り、第74回卒業式が挙行できますことに、心から感謝申し上げます。

106名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。卒業証書を受け取る皆さんの表情には、中学校3年間、義務教育9年間の学びを得て、立派に成長した「自信と誇り」が感じられました。

思い返すと、皆さんとの出会いは、2年生 12月の自然教室、はち切れんばかりの笑顔で多くの活動を通しながら、友との友情を深め、絆を確固たるものにする様子が今でも鮮明に蘇ります。

その約3ヶ月後、3月3日から感染症防止対策のため臨時休校… 日本が、いや世界中が混乱の波に襲われました。しかし、6月からの学校再開後、学校はまるで新たな息吹を得たかのように鮮やかな色を放ち、輝きを取り戻したことを今、一緒に思い出しましょう。

蘇る想いは、苦しい制限された活動よりも、前向きに考え・前例にとらわれない新たな考えを共有し進み続ける皆さんの逞しさです。

夏の大会が実施できずとも、工夫を凝らし行った代替大会など、部活動で過ごした友との貴重な時間が最後に凝縮され、自然と涙する姿に心打たれました。

9月 信州長野への修学旅行、厳しい残暑の中、白いシャツに身を包み豊かな自然や深い歴史・文化と触れあう皆さんに、まるで全てを吸収し己の糧とする勢いを感じました。

学校祭などの学校行事でも、制限された環境を楽しむかの如く、互いの考え・想いを調和させ実行する姿が、牧が丘のプライドを示すものであり、「自主の精神」という伝統のバトンを後輩へ繋ぐものとなったと感じています。

今後、皆さんが活躍を目指す社会は、過去の事例や経験にとらわれることなく、新たな発想・手段が必ず求められます。グローバル化、世界的な情報社会、多くの民族の垣根を越えた国際理解が求められる時代です。そして、豊かな生活を求めていくと同時に、地球上にある多くの課題を解決しなければなりません。このような時代だからこそ、皆さんに求められるのは、自主の力、創造の力、そして奉仕の力だと考えています。一人の自立した人間として、何事にも対峙していく力をもってほしいと強く願っています。

保護者の皆様に、一言、お礼を申し上げます。「お子様のご卒業、誠におめでとうございませぬ。」私ども教職員は、大切なお子様を3年間お預かりし、一人ひとりの幸せを願いながら、渾身の力を込めて教育に携わってまいりました。3年間という限られた歳月の中で、このように立派に成長したことを、大変嬉しく思うとともに、今後、明確な信念のもと「新たな夢」をもとめ人生を歩むと確信しております。

そして、本校教育活動、並びにPTA活動、後援活動に対し、温かいご支援と、ご協力を賜りましたことに、心よりお礼を申し上げます。

「誠にありがとうございました。」

卒業生の皆さん、いよいよ旅立ちの時がきました。皆さんは、本校の歴史に新たな1ページをしっかりと刻んでくれました。青春の学び舎「牧が丘・中村中学校」は、永遠の故郷です。いつまでも温かく、見守っています。

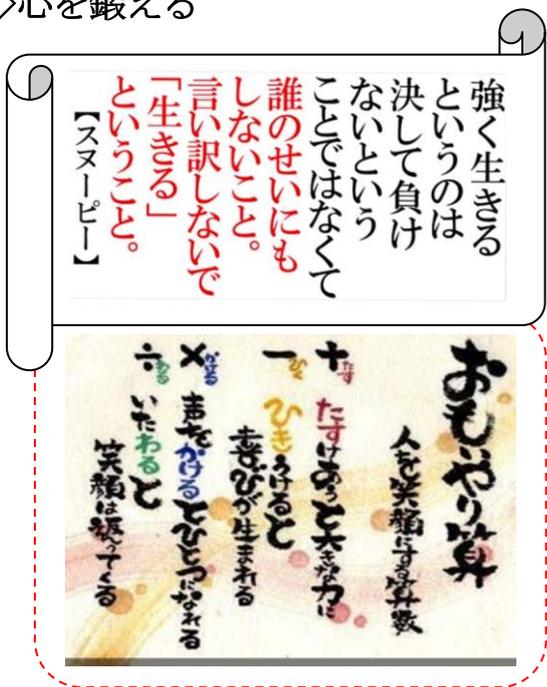
結びに当たり、本校の全ての教職員を代表し、悠々たる皆さんの、前途を祝し、式辞といたします。

令和3年3月10日 真岡市立中村中学校長 古澤 英明

◇表彰の記録

栃木県アンサンブルコンテスト 木管八重奏 銀賞 8名
栃木県管打楽器ソロコンテスト 優秀賞 2名
東関東吹奏楽連盟賞 1名
栃木県吹奏楽連盟賞 13名
書初展芳賀地区展 特賞 2名 金賞 1名 優良賞 7名 努力賞 3名
栃木県学校教育書写書道展 条幅の部 準大賞 1名 半紙の部 金賞 2名
書初中央展 特賞 2名 金賞 1名
下野教育美術展 絵画 金賞 6名
版画 金賞 1名
栃木県中体連体育運動優良生徒 2名
栃木県中体連卓球有望選手 1名
下野杯中学生サッカー大会 優秀選手 1名
9か年皆勤 10名
3か年皆勤 38名

◇心を鍛える



FB「～つつい伝えたいくなる深い話」より

☆こんな記事を見つけました☆

コロナ禍での閉塞感に、気分が曇ってしまいがちな毎日が続いています。マスク、3密回避、換気、消毒……

本当はみんな、笑顔で、じゃれ合って、一緒に遊んで、喋りながら食事をして、どこかに出かけて、自由に動きたい。

心が曇っていると、自分の心がコントロールできないことを人のせいにしてしまい、自分の問題から目を背けてしまいがちです。強い人なんて、そうはいません。でも、強く生きようと努力している人はたくさんいます。負けてもくじけても失敗してもいい、それを受け止めて成長のステップにしたいですね。

人に優しさを配れる、人を笑顔にする、そんな算数力を向上させる鍛え方、参考になれば幸いです。

今年度も最終号となりました。保護者・地域の皆様には、ご支援、ご協力いただき、感謝申し上げます。